

学生が、自らの考えやスキルに基づくボランティアの企画を立ち上げ、実施することによる社会参加(貢献)についてやってみゅーでスク事業としてサポートするもので、今年度は18グループが学生発プロジェクト事業に取り組みました。

* (1) 団体名、(2) プロジェクト名、(3) 人数、(4) 日時、(5) 内容

【1】(1) **ながさき 100 km 徒歩の旅 拡大活動 伝播組**

(2) ながさき 100km 徒歩の旅 拡大活動

(3) 29名

(4) 随時活動

(5) ながさき 100 km 徒歩の旅を広く知ってもらう事を目的とし活動。今年度はコロナウイルス感染症の影響で事業が中止となり、連続完歩を目指す小学生を対象とし、代替イベントを企画。

【2】(1) **Re : ちゃいくる**

(2) Re : ちゃいくる

(3) 7名

(4) 随時活動

(5) 長崎大学内で放置されていたり、卒業生から譲り受けた自転車を修理し、主に留学生・新入生を対象とした在学生へ提供する活動。



【3】(1) **長崎里親里子応援隊**

(2) 長崎里親里子応援隊

(3)

(4) 随時活動

(5) コロナの影響で対面での活動ができなかったため、里子へ向けて Xmas カードと年賀状を作成。



【4】(1) 学生ボランティアサポーター「つなぐ」

- (2) つなぐ
- (3) 9名
- (4) 随時活動
- (5) 主な活動はボランティアの魅力を発信すること。大学当局と学生をつなぐ、総合大学ならではの学部間交流、学生と地域をつなぐ、学年を超えた学生同士をつなぐ活動を主な目的として活動。
 - ・ ボランティア活動及び学生自主企画について、新入生へ向けての案内パンフレットを作成。
 - ・ コロナ禍におけるボランティアについて考え、親睦を深め、その場でできるワークショップを実施。
 - ・ オンライン授業で崩れた生活リズムを取り戻し、対面で他学部、他学年の人と交流することでつながりを増やすことを目的とし、十分な距離を保ちながら長大周辺の清掃を実施。



【5】(1) ながさき海援隊

- (2) 海浜清掃
- (3) 39名
- (4) 随時活動
- (5) 海浜清掃(漂着ゴミの回収と調査、ワークショップ)や海の魅力満載の活動(サーフィン、ペーロン等)を通して、漂着ゴミ問題への興味・関心を持ってもらうことを目的に活動。



【6】(1) 献血推進ボランティア 「ブラッディ・クロス」

- (2) 献血推進
- (3) 8名
- (4) 随時活動
- (5) 学内献血、キャンペーンでの呼びかけや献血セミナーの実施等



【7】(1) RFDプロジェクト

- (2) RFDプロジェクト (Returning For Donation Project)
- (3) 11名
- (4) 随時活動
- (5) 大学生協の弁当容器を回収し、デポジット制により換金、そのお金を災害被災地に寄付することで、環境問題および災害復興支援に関わっていく、「エコ×被災地支援」の活動。



【8】(1) NU MASK PROJECT

- (2) NU MASK PROJECT (布マスクプロジェクト)
- (3) 12名
- (4) 随時活動
- (5) マスクが必要であるにもかかわらず、手に入れることができない人々に、長崎大学人として長崎に明るいニュースを届けるため、メッセージとともに制作したマスクを寄付をする活動。



【9】(1) Mi Life <在宅ボランティア・アイデアコンテスト受賞企画>

- (2) 子ども向け新型コロナウイルス対策のための視覚ツール作り
- (3) 8名
- (4) 随時活動
- (5) 学校や学童は集団生活であるため「三密」がどうしても防げない状況が発生します。そこで、コロナウイルスを予防することを呼びかける壁面飾りや、ポスターなどを作成し、保育所、幼稚園、小学校、中学校、学童保育など、それぞれの施設、学校へ作成した視覚ツールを郵送で送り、掲示してもらう活動。



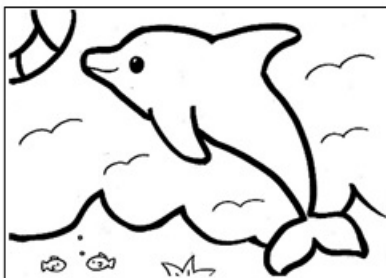
【10】(1) 長崎千羽鶴チーム <在宅ボランティア・アイデアコンテスト受賞企画>

- (2) 平和祈念式典にむけて千羽鶴を作ろう！
- (3) 16名
- (4) 令和2年5月～9月
- (5) それぞれの自宅で平和への祈りをこめて鶴を折ってもらい、千羽鶴にして、寄贈する活動。



【11】(1) おえかきぷろじえくと <在宅ボランティア・アイデアコンテスト応募企画>

- (2) 子ども向けぬりえ下絵作り
- (3) 4名
- (4) 令和2年5月～8月
- (5) 外出自粛中の子どもが退屈しないよう、家でぬりえをする際に使う下絵を作成し、保育園等必要なところへ配布する活動。



【12】(1) ピースキャラバン隊

- (2) ピースキャラバン平和活動
- (3) 13名
- (4) 随時活動
- (5) 平和について、特に核兵器の脅威等について、小中高生や一般市民への学習会、講演を開催し、意見交換を行う。



【13】(1) Yellow Bird <在宅ボランティア・アイデアコンテスト受賞企画>

- (2) 楽しく感染症予防 洗うと溶ける『紙石鹸』で手を洗おう
- (3) 30名
- (4) 令和2年6月～12月 12月以降やってみゅーでスクが引き継いで活動
- (5) 紙石鹸を作成し、必要とする施設へ寄付する活動。子供たちの手洗い時間を自然と延ばすことで、COVID-19 感染予防のみならず、その他感染症の予防ができ、加えて、手洗いが嫌いな子供たちにも興味を持ってもらうことができるため、多くの子供がすすんで手洗いするようになることを目的とする。



【14】(1) 水際アンビュランス

- (2) イケイケの池企画 第1弾
- (3) ①5名 ②8名 ③5名
- (4) ①令和2年8月31日(月)～9月4日(金) ②令和2年10月14日(水)、23日(金)
③令和3年3月26日(金)
- (5) 校内の汚れた池を手入れし綺麗にする。教育学部教授指導のもと、学内の池において、微生物や魚の住みやすい環境を作る。



【15】(1) 農楽部(仮)

- (2) 農業×〇〇～大学から地域を盛り上げよう！～
- (3) 17名
- (4) 令和2年11月～
- (5) 農業を通して、地域を活性化することを目的としたプロジェクト。
長崎市内の空き地や耕作放棄地を利用して、地域を盛り上げる場所をつくる。大学内では、段ボールコンポストを利用した土づくりなど、農業の技術を伸ばし、地域を盛り上げる内容を考える場とする。



【16】(1) 福祉用具作らん場

(2) 福祉用具作らん場

(3) 6名

(4) 令和2年12月～

(5) 実際に障がいや悩んでいる方の話を聞いて、その悩みを改善する福祉工具を開発・制作し提供する活動。



【17】(1) ハトさんゆうびん <在宅ボランティア・アイデアコンテスト応募企画>

(2) ハトさんゆうびんプロジェクト 手紙でつながろう

(3) 11名

(4) 令和3年2月～

(5) コロナ禍で対面のコミュニケーションが減っている今、相手に届くには多少時間がかかっても、SNSにはない温かさを感じる「手紙」を通して、人との温かいつながりを持つ事を目的とし、地域の高齢者や子どもたちと文通をするプロジェクト。



【18】(1) 長大コンタクトレンズケース回収チーム

(2) コンタクトレンズケースを集めて地球を救おう！

(3) 4名

(4) 令和3年3月～

(5) 使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、リサイクルするのが目的。回収BOXの設置、活動の周知を行い、回収した空ケースをまとめて集めている団体(アイシティなど)へ送付する。